

▼上段左、4WDクラス優勝加藤一也選手(CMSC福島)、右 FFクラス優勝須田行雄選手(CMSC福島)、中段左より、オープンクラス佐々木健太郎選手(CMSC青森)、支部対抗1、2、3位(福島、青森、仙台)、FRクラス優勝後藤庄悦選手(CMSC仙台)、下段左より、新型ランエルのエンジンルームをのぞき込む参加者、レディースクラス優勝大井こずえ選手(CMSC群馬)、軽クラス優勝齊藤賢司選手(CMSC福島)



'92CMSC全国大会クローズドジムカーナ結果

●4WDクラス

1位	加藤一也	福島	1'14"17
2位	佐藤宥昭	福島	1'15"80
3位	櫛田正文	岐阜	1'16"98
4位	小館久	青森	1'17"10
5位	菅野茂	山形	1'17"63
6位	中田裕二	大阪	1'17"82
7位	飯塚恒守	群馬	1'19"65
8位	鈴木日出明	山形	1'19"70
9位	菅野仁司	香川	1'19"91
10位	葛西義和	青森	1'20"59

●FFクラス

1位	須田行雄	福島	1'13"80
2位	鈴木正孝	福島	1'15"32
3位	熊沢祥人	本部	1'16"60
4位	渋谷和彦	仙台	1'17"56
5位	川口昭一	帯広	1'21"04
6位	佐々木幸人	仙台	1'21"11
7位	吉野正則	愛知	1'21"43
8位	川道猛	愛知	1'21"91
9位	山口靖岳	愛知	1'22"29
10位	土江厚	島根	1'22"29

●FRクラス

1位	後藤庄悦	仙台	1'18"71
2位	工藤裕央	青森	1'19"95
3位	宗像善弘	福島	1'27"63

●軽クラス

1位	齊藤賢司	福島	1'24"24
2位	岩山利廣	大阪	1'24"82
3位	齊藤豪志	大阪	1'28"35

●支部対抗(各支部高得点3名のポイント合計)

1位	CMSC福島	60ポイント
2位	CMSC青森	50ポイント
3位	CMSC仙台	42ポイント
4位	CMSC大阪	37ポイント
5位	CMSC埼玉	28ポイント
6位	CMSC群馬	24ポイント
7位	CMSC山形	24ポイント
8位	CMSC本部	18ポイント
9位	CMSC栃木	16ポイント
10位	CMSC千葉	15ポイント

●オープンクラス

1位	佐々木健太郎	青森	1'13"37
2位	対馬雅弘	青森	1'14"10
3位	佐藤政一	仙台	1'17"87

協賛スポンサーリスト(アイウエオ順)

IPF株式会社
青木科学研究所(ルフロレン)
株式会社アライヘルメット
株式会社伊勢丹
株式会社ウイングス・コーポレーション・ジャパン
株式会社エスエスリミテッド
エンパイヤ自動車株式会社
オートタイヤ株式会社
カヤバ工業株式会社

株式会社キャロッセ
株式会社サミット
株式会社シスコジャパン(STP)
住友ゴム工業株式会社
株式会社タスカ・エンジニアリング
株式会社ツ&フー
株式会社テスト&サービス
株式会社東京映像社
東洋紙業株式会社

栃木富士産業株式会社
日本特殊陶業株式会社
株式会社ブリヂストン
ポッシュロム・ジャパン株式会社
ミシュランオカモトタイヤ株式会社
ミツフモデル
横浜ゴム株式会社
株式会社フリアート

悪天候に、エントラント、オフィシャル共に大奮闘。

CMSC栃木

'92スリーダイヤモンドジムカーナ

5月31日

去る5月31日に栃木県ジムカーナシリーズ第4戦'92スリーダイヤモンドジムカーナを、112台の参加を集め、日光スピードパークにおいて開催しました。

当日はあいにく朝から土砂降りの雨。エントラント、オフィシャル共に、まずは天候との闘いから幕が開いたという感じでした。コースに関しては、テクニカルな部分とハイスピードの部分を適度にミックス。エントラントには概ね好評だったようです。

今回は、A1クラスにミニカダンガン、ミラージュマリオンといったジムカーナにはちょっと不利ではないかと思われる車種が参加しており、またA2クラスではギャランE33Aがまったくノーマルの状態で出場するなど、今までのイベントではちょっと考えられないようなエントリーがありました。ただし、これらのエントラントは今回のジムカーナが初めての競技出場だった模様。主催者側の我々としては、今後戦闘力のある車に乗り換えて出場されることを今から楽しみにしています。



悪天候とはいえ、競技はオフィシャルの奮闘努力の甲斐あってスムーズに進行。三菱賞1位には、以前ダートトライアルで大活躍をみせていた、車辰二選手が入りました。それにしても、全身すっかりびしょ濡れになってしまったオフィシャルの皆さん、ほんとうに、本当に、ご苦労様でした。

(CMSC栃木 町田)



左から三菱賞1位車選手、2位柏瀬選手、3位小川選手

全道一の豪華商品!?!に、加熱気味のレース展開。

CMSC帯広

第8回コルトダートトライアル

8月23日

今年で既に8回目を迎えたコルトダートトライアル。これは、ダートラの底辺拡大を第一の目的として、主に初・中級者を中心に開催しています。ただし、この競技会、何しろ賞品が良いという点では全道一を誇ると言われるだけあって、賞品目当てに参加する上級者もチラホラ。1.8kmのハイスピードコースで20秒以上もの差がついてしまい、ガクリと肩を落とすエントラントも出る始末でした。

さて、三菱車がメインのAIVクラスの結果ですが、山口選手が240馬力というギャランの意地をみせ、1-2本共にベストラップ。見事という他はない完全優勝を果たしました。続く2番手には馬淵ランサー。コンマ差で続く大健闘ぶりが光っていました。

(CMSC帯広 青沼 達也)



写真上、AIV 1位の山口選手
下段左、2位馬淵選手
右、上より、3位斉藤(直)選手
6位斉藤(学)選手、4位小池選手